

地域の子は地域ですこやかに育てよう



青少年つるが

青少年健全育成敦賀市民会議 第17号

2010年度

ひまわり塾

8月22日(日) 黒河川付近にて



7月24日(土)
「昔の塩づくり体験」

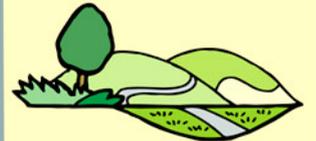
4年生 15名(男子8名 女子7名)
5年生 13名(男子9名 女子4名)
6年生 9名(男子7名 女子2名)

合計 塾生37名 推進員13名

8月22日(日)
「黒河川探検～敦賀の水がめ黒河川
について学ぼう～・柴田氏庭園見学」

4年生 9名(男子7名 女子2名)
5年生 12名(男子5名 女子7名)
6年生 4名(男子1名 女子3名)

合計 塾生25名 推進員13名



9月18日(土)
「氣比神宮見学・
中池見湿地の生態系を学ぼう」

4年生 7名(男子6名 女子1名)
5年生 9名(男子3名 女子6名)
6年生 1名(男子1名 女子0名)

合計 塾生17名 推進員14名

10月16日(土)
「天筒山から金ヶ崎までを歩き、
秋の自然を感じたり、辺りの歴史を学ぼう」

4年生 4名(男子2名 女子2名)
5年生 7名(男子2名 女子5名)

合計 塾生11名 推進員15名



▲ヒツジグサ
未の刻に花が開きます。
(ひつじのこく) = 現在の14時



郷土の今と昔を知り
自然にふれあいながら
豊かな心情を培う

2010年度 ひまわり塾

1回

7月24日(土)

「昔の塩づくり体験」
(五幡海岸で海水から塩を作る)



初めて塩作りをして、昔の人は、たいへん
だったという事が改めて分かりました。今日
作った塩は、
ふつつに売
られたり
塩よりも
よっぽど
塩からか
たです。お
うちへ帰っ
たら、家族
に「こんな
の作ったよー
と自慢し
たいです。

●今日は、塩づくりの体験をして、海の水で塩が作れるなんてすごいと思いました。塩は店で売っている塩より少ししょっぱかったです。たぐさんの海水から少ししか塩がとれないからたいへんだなあと思いました。

●わたしは火をたいて、海水を固めて、塩を作り出すことが分かりました。昔はとも手まががかって塩をつくっていたんだなあとお心にしみこみました。色々なお話を聞いて塩分が少ないうとどき水しようじょうじょうになりやすい事を聞いて家族みんなにもおしえてあげたいと思いました。

●塩は、なめるとしょっぱくて、あつらなめらかになると、おいしいです。おいしい塩が出来るとは、やっぱり海がきれいだからだと思います。これからは、きれいな海を残したいです。



2回

8月22日(日)

「黒河川探検・敦賀の水がめ黒河川
について学ぼう」柴田氏庭園見学



話を聞いて
いると野々
をすくった
んだなあ、お
もいました。
歴史を私は
好きなので
とても面白
かったです。

●黒河川では、同じ石がたぐさんありました。石には名前がついているのが分かりました。流れがとも強い所もあつたし、弱い所もありました。黒河川は、自然がたぐさんあつてとてもすてきな所でした。

●私達の近くにあんなにきれいな黒河川があつて、しあわせだなあと思いました。自然の力はともすごいです。私達は、自然あつてこそ生きていられるので、これからは自然を大切にしていきたいです。

●350年前に、しば田さんが野さから市野々にひっこしてきて、野さか山が見えるように作つたのは、とてもすごい発想だと思えます。



の神さまがいらつしやるといふこともぜんぜんしりませんでした。中池見では、イノシシの足あともありました。イノシシのねころがったのもありましたが、そのタネはすのタネも見ました。まっくらでビー玉のようでした。

●私たちがよく知っている氣比神宮に7人の神さまがいらつしやるといふこともぜんぜんしりませんでした。中池見では、イノシシの足あともありました。イノシシのねころがったのもありましたが、そのタネはすのタネも見ました。まっくらでビー玉のようでした。

●今日のひまわり塾では、動物たちの大切さや生たいなどを知ることができました。虫や両生類のことがたぐさんわがりました。また、これからは、虫や動植物を大切にしようと思います。今度たぐさんへりつづけた動物たちを、またたぐしていききたいです。

●氣比神宮のとりに日本三大とりだと初めてしりました。氣比神宮は、一番上の官幣大社だとききびっくりしました。じもとにあるものなので、これからは大切にしたいです。



「氣比神宮見学」
中池見湿地の生態系を学ぼう

3回

9月18日(土)



崎のことがよく分かつたので、つづつ山では、金ヶ崎はシイのみをひろえてよかったです。つづつ山から金ヶ崎ははじめのしかたです。

●今日楽しかったところはおつづつ山と金ヶ崎のことがよく分かつたので、つづつ山では、金ヶ崎はシイのみをひろえてよかったです。つづつ山から金ヶ崎ははじめのしかたです。

●天筒山の周りは全部海だつた(昔)とき、はじめて知りました。それに、信長が来たという説があるから、敦賀もじまんでるころなんだなあと思いました。天筒山から見た景色は、すごかったです。金ヶ崎や天筒山にも大阪しようみだいに、観こう客がきてくれたらいいなあと思います。



「天筒山から金ヶ崎までを歩き、秋の自然を感じたり、辺りの歴史を学ぼう」

4回

10月16日(土)

平成22年度 ひまわり塾をおえて……
子どもたちの不思議発見のキラキラした瞳が印象的でした。
来年度も体験を中心に、楽しく何かを得てもらえるような企画を考え、たくさん子どもたちの参加をお待ちしております。



明日に延ばさない人生

青少年健全育成敦賀市民会議
会長 籠 正義

「ずいぶん前から頼まれていた『青少年つるが』のこの原稿、担当者から何度となく催促を受けてやっと今、せわしなく書きはじめました。」

「もともと、ときはきと動く性格の持ち主ではないのですが、近年は年のせいなのか、さらに気力や集中力が薄くなり、めんどろなことや時間のかかることは後へ後へと回していく傾向が多くなりました。」

「その為、ご迷惑をかけたか、お叱りを受ける失態や失敗が頻繁におきており、この原稿もその一つと言えます。」

「明日ありと思う心のあだ椽 夜半のあらしの吹かんものは」

「親鸞聖人が九歳で忠範と名のついでた折、高僧慈円との対話の中でうたわれたと言われる古歌が、じくーっと胸にさざりました。」

「それほどの事情や訳があるものではないのに、今日のうちにおかねばならないことを安易に明日に延ばし、

その場になって急にあわてて取り組み、思わぬ結果をまねく経験を繰り返してきたことを、今度は年のせい…と勝手に理屈をつけている現状で、情けない話です。」

「さて、子育て中の方々におかれましては、『今日のことは明日に延ばさない』という強い信念と努力を持ち、その厳しい姿勢を示していただければ…と強く思います。」

「その姿は、必ず子どもの中に直接反映していくはずであり、遅しく、他人から信頼される立派な社会人となる道を歩まれることとなるはずで、子どもに示す大人の姿勢の一つとして『今日のことは明日に延ばさない』ということもあるのではないかと、自らの反省の中で感じています。」

「青少年健全育成活動の趣旨をご理解いただき、今年度もこのように多くの賛助会費を賜り厚くお礼申し上げます。また、青少年の健全育成活動に、是非活用して欲しいこと、逝去されたご尊父さまの強い願いのもと、高額な賛助会費をお寄せいただいた方もいらつしやいました。これからも青少年育成活動の一層邁進していく所存です。ぜひ、指導ののりをお願いいたします。」



賛助会費のご報告

当市民会議の趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございます。

賛助金の22年度の募集結果は左記の通りです。

- ☆賛助会員数・・・14,256名
- ☆賛助会費・・・2,220,102円

(11月末現在)

募集します!!

青少年健全育成敦賀市民会議では、青少年に関する作文とポスターを募集します

平成22年度

青少年からのメッセージ 青少年へのメッセージ

応募資格

市内にお住まい、または、通勤、通学されている小学生以上の方

応募作品

各部門とも1人1点で未発表のもの

応募期間

平成22年12月7日(火)～平成23年1月18日(火)

作文

- 【内容】家庭・学校・地域などで日頃考えていることや言いたいこと
- 子どものことについて考えていること
- 自分の将来の夢や希望
- 私の訴えたいこと
- 職場や団体での青少年健全育成の活動体験など

- 【作品規定】400字詰め原稿用紙(縦書き)で
- 小学生1～3年生は2枚程度
- 4～6年生は2枚以上3枚以内
- 中学生・高校生は4枚以上5枚以内
- 一般は枚数制限なし
- *応募票を原稿用紙1枚目の右上部に貼付してください。

ポスター

- 【内容】明るく楽しい家庭
- 明るく楽しい学校生活
- 住みよいまちづくり
- 子ども会・サークル活動 など
- 【作品規定】
- 小学生は四ツ切りまたは八ツ切り
- (1・2年生は図画でも可)
- 中学生・高校生は四ツ切り
- 一般は四ツ切り
- *応募票を作品の裏面右上部に貼付してください。

お問い合わせ・申込先

青少年健全育成敦賀市民会議事務局 (少年愛護センター内)

TEL 23-0189



青少年健全育成福井県民大会

◆テーマ 「家族のふれあいを地域で支えよう」

講演会 ◆ 演題「子どもの心に寄り添う」

◆ 講師「はぐるまの家」代表 坂岡嘉代子氏

(和太鼓を通じ、聴覚障がい者や突っ張り少年たちを、身をもって導くカウンセラー)

平成22年11月14日(日)
13時～15時30分
福井県自治会館にて

私たちは、先に生まれてきた大人としての自覚を持たなければいけません。子どもを持つ大人たちは、父として母として生きるべきです。叱つてくれる親の居ない子は、涙を知りません。「わが母に勝るものなし、一億人の人に、一億人の母あり。」とも。奇しくも、この大会の日には、青少年育成福井県民会議の創立日でした。

(昭和44年11月14日創立)

表彰式

● 善行青少年および
青少年育成成功労者知事表彰受賞者
【青少年健全育成成功労者】

木崎直樹(敦賀市)
濱本量子(敦賀市)

● 優良青少年補導員および
優良少年警察協助力事感謝状受賞者
【優良青少年補導員】

坂東久雄(敦賀市)
増井清(敦賀市)

【優良少年警察協助力員】
伊原千恵子(敦賀市)

青少年健全育成講演会

講演会 ◆ お題 古典落語「芋泥」

創作落語「育成会合唱部」

～地域で子どもを守り育てる～

◆ 講師 創作落語家 はやおき亭 貞九郎氏

12月4日(土)中郷公民館において、創作落語家のはやおき亭貞九郎氏を講師にお迎えし、青少年健全育成講演会を開催しました。

貞九郎さんは、まず始めに「自分と息子さんとの体験談を笑いを交えつつお話され、ものの数分で参加者は貞九郎さんの話に引き込まれました。古典落語も創作落語も素晴らしく、会場全体が大爆笑でしたが、貞九郎さんの巧みな話術によって、家庭での子どもと過ごす時間の大切さや子どもと大人との関係といった大切な事柄もさらりと語られました。笑いの中にも「地域で子どもを守り育てる」というテーマがしっかりと伝えられ、楽しく素晴らしい講演会となりました。



はやおき亭 貞九郎

平成22年12月4日(土)
13時30分～
中郷公民館 大ホールにて

青少年健全育成敦賀市民会議 加入団体紹介コーナー

杉の子サークル (1979年10月1日設立)

テレビの影響で、映像文化が子どもたちに浸透しはじめた時代に、直に子どもたちに、生の声で、児童書や絵本などを読み聞かせてあげたいという、母親や読書会の会員が、グループを結成した。

市立図書館を拠点にして、ストリーテリングを中心に活動を開始。学校や保育園、幼稚園に出向いて、1時間程度の読み聞かせを行ううちに、ペープサートや紙芝居等も作成して上演するようになった。

現在は、ペープサート、人形劇、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、手遊び、読み聞かせなど、多様な活動を展開している。年に2回、市立図書館での年中行事、「子どもの日の集い」「クリスマス会」には、子ども・大人合一翼を担っている。

林 恵子の

きらきらcoramu

Vol.8

父親の子育て

父親が子育てにかかわることの大切さがクローズアップされています。「教育ママ」が出現したところからハウスゲート(パパを子育てに寄せ付けない番人)になってしまったママがたくさん出てきました。それから数十年たった今、それは子育てにとって良い影響を与えなかったことが判明しました。子どもはなるべくたくさんの大人に見守られて育たなくてはいけません。いろいろな価値観のもとで育てていきます。その一番小さな単位が両親です。「イクメン」という言葉を嫌う男性もいます。「俺の背を見て育て」もまた一つの育児方法。ただ一つ大切なことは、夫婦お互いに「りがとう」の思いを伝えること。夫婦でしっかりと子育てについて話し合い、方針を決めてください。



市民会議で活動しませんか

名前は必ずかしいけれど「子どもたち」にやさしい人たちの集まりです。私たちは、敦賀の子どもたちの笑顔をたくさん見るためにさまざまな活動をしています。明日の敦賀を担う子どもたちのために何かしてあげようと思われ方がいらっしやいましたら、左記にご連絡ください。私たちと一緒に活動しましょう！

皆様の青少年への思いを、市民会議で語ってみませんか。参加をお待ちしております。



青少年健全育成敦賀市民会議のシンボルマーク



毎月15日は 青少年育成の日

今月の推進テーマは

「一年をふり振り返り、感謝の気持ちを持つ。」

毎月第3日曜日は 家庭の日

今月の推進テーマは

「一年をかえりみ、しあわせな家庭を喜ぼう。」

『青少年つるが』第17号

平成22年12月14日

編集・発行 青少年健全育成敦賀市民会議

広報部

事務局 少年愛護センター内

〒914-0047 敦賀市東洋町1の1

TEL 23-10189

FAX 23-10523

Eメール news_aigo@ton21.ne.jp

皆様のご意見を募集しております